

会報

ふれあい

第38号

令和7年(2025年)7月発行

南部町老々連



炎天下の熱戦



室内での接近戦

参加総数109名

健康スポーツ大会

7.6.19(木)

ふるさと交流センター

(成績表4面に)

(行事協力)

南部町福祉政策課

南部町社会福祉協議会

老人クラブ三大目標

健康づくり

すこやかな暮らし

友愛活動

なかまづくり

奉仕活動

ボランティア活動

南部町老人クラブ連合会

南部町社会福祉協議会内

電話 0859-66-2900



気候の変動が非常に大きく、寒暖差が厳しい年度初めとなりましたが、会員の皆様にはお変わりありませんでしょうか。

日頃より、南部町老人クラブの活動に協力頂き有難うございます。お礼申し上げます。昨年度は鳥取県で開催されたねりんピックへの参加があり、非常に忙しい一年にもかかわらずグラウンドゴルフ大会、講演会・芸能大会、運動会、ウォーキング大会と計画をしていた事業を順調に行うことが出来ました。

我々高齢者で気を付けたいことは

- ・熱中症対策をしていますか。
- ・電話やメールでのオレオレ詐欺や還付金詐欺にからまないように注意をしていますか。
- ・注意力が低下してきています、車の運転や散歩等周りに気を使っていますか。
- ・家に閉じこもってばかりでなく、運動や近所の人と井戸端会議をしていますか。



老人クラブ会員を募集中です。楽しい会にしていきたいと思っております。

一緒に楽しんで健康寿命を延ばしていきませんか。お待ちしております。

新任理事 ご挨拶

宮前一区老人クラブ 会長 中原 由美子

令和7年度の総会で推薦され、会長を務めさせていただくことになりました。

宮前一区老人クラブは60歳になると会員になります。しかし、私が実際に参加したのは、様々なことが一段落して、活動ができる気持ちになった令和3年度からでした。初めて総会に出た席で、副会長に推薦され引き受けたのですが、会長さんに頼り切って何もできませんでした。

この度会長になって昭和39年からの書類を引き継ぎました。色褪せた書類の中に懐かしい名前が沢山あり、長い歴史を知りました。先輩方が築いてくれた老人クラブを次につなげていかなければ、と強く思ったところです。

3月の総会から1か月もたたないうちに臨時総会をして、役員の見直しをしました。時代の変化に対応しながら、役員みなで知恵を出し合って「笑い」「汗」「驚き」をキーワードに、和気あいあいと活動していきたいと思います。

今年度は役員改選期でした。4月24日、総会において左記のとおり選任されました。なお、若手委員会は前年度末をもって廃止のため細川民治氏退任。

役員

会長	庄倉三保子
副会長	原 和正
〃	垂水 英俊
〃	小倉 栄子
監事	井上 武
〃	佐伯 操
理事	各単位クラブ会長
総務委員長	野口 賢治
保健体育委員長	大塚 賢一
文教委員長	潮 昭弘
女性委員長	小倉 栄子
会計	野口 昭男
事務局 長	原 和正

今年度理事(各単位クラブ会長)12名のうち1名が新任されました。(全理事名は6面に掲載)

単位クラブ活動報告

大国尚寿会 前 田 慎 三

三世代交流事業(いも苗植え付け)

家族構成の変化により生活形態が変わり家族のだんらんの暖かなひとときが少なくなった家庭生活、おじいちゃん、おばあちゃんからの知恵、作法等教わる機会が少なくなった今、少しでもその機会となればと始まった三世代交流事業です。大国振興協議会の事業ではありますが、尚寿会の会員の参加によりおじいちゃん、おばあちゃんの役割が果たせればと参加をしています。

今年度は、5月11日(日)曇り空のもと7時より8時30分まで田園スクエア周辺の除草作業に汗を流した後、三世代によるいも苗の植付作業に入りました。初めていも苗を持つ子供たちに、持ち方、植え方を教えて、紅はるか、紅あづま、約500本ほど、総勢30名(内親子6組)で1時間ほどで全て植え付ける事が出来ました。子供たちも教わりながら頑張りました。

秋の収穫祭が楽しみです。



令和7年度
南部町老人クラブ連合会
会 長 表 彰
令和7年4月24日

(個人表彰)

(1名・敬称略)

所 属	氏 名		
大 国 尚 寿 会	やま	もと	すなお
	山	本	朧

●永年にわたり当会の発展に功績のあった方々を表彰しています。

受賞ごあいさつ



大国尚寿会

山 本 朧

このたび大国尚寿会からの推薦を受け、老ク連会長表彰を賜り誠に有難うございました。

私が大国第一尚寿会に入会したのは26年前。その当時、大国も人数が多かったので、尚寿会は第一、第二と二つになっていました。

入会以来仲間と楽しく活動してきました。老人クラブの三大目標『健康づくり』『友愛活動』『奉仕活動』を目的としたいろいろな事業に参加することで、私の人生に新しい1ページが次々積み重なってきたような気がします。

今後も楽しく諸行事に参加しながら仲間を増やし、微力ではありますが老人クラブのお役に立てればと思っています。



さわやか すこやか 心豊かな長寿社会

令和7年度 健康スポーツ大会

令和7年6月19日(木) ふるさと交流センター



◆ グラウンドゴルフ

優勝	市山秋桜会 ① (226打)
準優勝	大国尚寿会 A (226打)
第三位	大国尚寿会 B (232打)

(参加) 5人×11チーム(補欠2人のチームあり)
4人×2チーム
ホールイン賞:11個

◆ ニチレクボール

優勝	東西町第二万寿会 B
準優勝	東西町第二万寿会 A
第三位	天津 第二百寿会

(参加) 8チーム 44人(補欠含む)
勝ち抜きトーナメント及び敗者トーナメント戦
チームMVP賞:8人

新体制発足にあたり



南部町
福祉政策課長
加納 諭史

「つながり合い、支え合いによる 地域づくりを目指して」

南部町老人クラブ連合会の皆様におかれましては、福祉行政の各般にわたりご理解とご協力を頂いていすこと、また、日頃の活動を通じて生きがいづくりや健康づくりの推進を担って頂いていすことに感謝申し上げます。

南部町では、令和7年4月に機構改革が行われ、新たに福祉政策課、健康対策課、子育て支援課に再編し、それら3課を取りまとめる部署として福祉事務所を配置して新たな船出を迎えています。主に高齢者福祉に関することは、福祉政策課が担いですが、3課1事務所が一体となって関わる体制としています。引き続きよろしくお願い致します。

さて、人口減少、少子高齢化の進行は、南部町に限らず日本が直面する深刻な社会問題です。国立社会保障人口問題研究所によると2040年の南部町の推計人口は7,612人になると見込まれ、そのうち15歳から64歳までの生産年齢人口が47,98

%、65歳以上人口の老齢人口が43.02%と推計しています。人口の減少、少子高齢化に加え、生産年齢人口の減少は、将来直面する深刻な社会問題であり、経済の縮小、社会保障制度の負担増、地域活力の低下など、様々な分野に影響を及ぼすといわれています。

しかし、これら将来への不安に対して何もしいわけにはいきません。自治体規模でも「縮充」や「スマートシユリンク」(いずれも賢く縮むこと)など、人口減少を前提にした持続可能なまちづくりへの転換が叫ばれています。

住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることは私たちの願いです。そのために、日々の暮らしの中で、個人だけでなく地域を構成するメンバーが無理のない範囲でつながり合い支え合うことも大切です。老人クラブ連合会は、地域の中のつながり合う場として、重要な資源の一つでもあると期待しています。

つながり合うこと、ささえあうことは、少し煩わしさがあるのも事実だとも思いますが、負担感以上の満足感が得られるならば、暮らしの中でも活力が生まれ、楽しく暮らし続けることができると考えています。

未来に残したい南部町の豊かな自然と同様に、私たちの暮らしもできる範囲で将来に向けて持続可能なものにしていく使命があると考えています。

地域密着型 多機能病院として



南部町国民健康保険
西伯病院
院長 長谷川 純一

西伯病院は設立から74年になろうとしています。この間、鳥取県西部の医療機能の重要な役割を果たしつつ、地元南部町で「地域住民への安心の提供」を基本理念に診療を行ってきました。

現在、肺炎や慢性心不全の急性増悪、糖尿病のコントロール不良例の入院治療など、かかりつけ患者さんの急性期入院治療を行うほか、近隣のクリニックからの紹介を受けて入院治療を担当する点はこれまでと変わりはありません。一方、近年特に力を入れているのが住民健診や人間ドックです。普段の生活を続けていく上で、見過ごされている身体の異常を早期発見し、大事に至る前に治療したり、早くから合併症予防に努めることで健康寿命を延ばすことができるからです。そこで見つかった高血圧や糖尿病などの生活習慣病に

対しては、ほぼ毎月外来に通院いただき良好にコントロールすること、脳卒中や心筋梗塞、慢性腎臓病などの発症を予防する「かかりつけ病院」機能を果たしています。

ただ、近年当院の役割が変わりつつあることも、ご理解いただきたいことがあります。日進月歩の医療の高度化・専門分化に対応するには、大規模で高額な医療機器・設備の整備や多数の専門医の配置が必要になります。一、二カ所の基幹病院にしか整備できず、専門医の配置もできません。

そこでは一週間程の間に集中的な入院治療や手術を行い、急性期を過ぎるとその病院の役目は終わることになる。引き続き入院治療が必要な場合でも、相応の病院への転院を求められます。

そのような中で当院は、患者さんを、最適な高次医療機関に紹介し、その超急性期治療が終わった患者さんの回復期治療の継続や、リハビリを行い、元の生活に戻っていく準備をする医療を受け持っています。すなわち、かかりつけ病院機能や、通常の入院治療、高度医療後回復期のフォロー、リハビリなど、さらには緩和医療などに必要な職員を配置しつつ、当地に密着した、多機能の病

院として貢献したいと思っています。また当院退院後も、医師が医療処置の必要性を認めた場合の訪問看護（南部町訪問看護ステーション）や、要支援・要介護の認定を受けた方への訪問リハビリについてもご相談下さい。

もちろん一般身体疾患ばかりでなく、認知症疾患医療センターでの認知症への対応や精神科救急を含めた当地の医療圏における精神疾患診療の役目を果たしています。話題の認知症に対する最新治療についても大学病院と連携して取り組んで参ります。

一方、これまで町内になかったような、医療も受けられる住まい機能の施設として、昨年からは16床の介護医療院「さくら」を開設しています。見守りをデジタル機器で補完し、プライベートな空間を確保した施設で、できるだけ快適な生活を送っていただけるよう配慮しています（写真1、2、3）。今後とも西伯病院の運営にご協力ご支援いただきますようお願い致します。



写真1 介護医療院 さくら



写真2 さくらの個室



写真3 さくらの食堂・デイルーム

◎南部町老人クラブ連合会は、下記12の「単位クラブ」で構成されています。

鴨部笑友会	大 国 尚 寿 会	天 津 第 二 百 寿 会	天 津 第 一 百 寿 会	東 西 町 第 二 万 寿 会	東 西 町 第 一 万 寿 会	単位クラブ
井 上 武	前 田 慎 三	亀 尾 正 明	亀 尾 公 美	小 杉 達 男	野 口 昭 男	会 長

市 山 秋 桜 会	高 姫 と き わ 会	諸 木 い な ほ ク ラ ブ	円 山 円 友 ク ラ ブ	宮 前 一 区 老 人 ク ラ ブ	寺 内 赤 猪 岩 ク ラ ブ	単位クラブ
岡 田 康 文	岡 田 久 男	佐 伯 操	池 田 和 子	中 原 由 美 子	吉 持 一 男	会 長

右記の太字は新任

南部町老人クラブ連合会
令和7年度 主な事業の経過と予定

- 4月 24日 令和7年度 定期総会
6月 19日 健康スポーツ大会
6月 26日 第1回理事会
9月 25日 老人福祉週間講演会・芸能大会
10月 9日 南部町健康福祉運動会(西伯・会見合同)
10月 30日 老ク連グラウンド・ゴルフ大会
11月 6日 健康ウォーキング大会
11月 13日 役員研修会
2月 26日 第2回理事会

[上記は情勢により変更になる場合あり]

- ・上記以外に必要な応じて随時開催
女性委員会
専門部会(総務、保健体育、文教)
- ・年間随時 会員加入促進運動の推進
会見地区花壇の管理
女性会員1人1枚雑巾運動

「あなたも一緒に健康長寿をめざしませんか」

老人クラブでの活動が健康長寿に有用性あり

— 日本老年学的評価研究で明らかに —

編集後記

令和7年度初回会報「ふれあい」の発行にあたり、たくさんの方々に投稿していただきありがとうございます。

私も編集委員に間わり二年目、編集後記の執筆担当に立候補しましたが、何を書こうかと思いつく巡らせ私の元気の源でもある「推し活」について書かせていただきたいと思っています。

それは黒の縦縞ユニフォーム、プロ野球チームの応援です。球場でもテレビ放映時の前でも大声で応援歌を歌います。これが若さと元気を保つ糧になっていると自負しています。

皆様も「推し活」を見つけ、一日一日を元気で過ごされては如何でしょうか？最後に年二回発行の会報「ふれあい」を楽しんで読んでもらえたら幸いです。

トラッキーばあば
(円山T)

編集委員(総務委員会)

野口賢治 前田慎三
垂水英俊 竹内光子
佐伯一二美 田淵千里

(協力) 原 和正 庄倉三保子

(謝辞) 当連合会の活動は、南部町福祉政策課、同社会福祉協議会のご支援を賜っております。心から御礼申し上げます。



この会報発行にあたり共同募金の助成を受けています。

